

お口の健康診査（成人歯科健康診査）が変わりました

各年代に応じた検査項目に変更しました

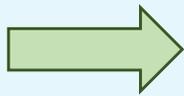
詳細はこちら



市ホームページ

R8年度より18歳～39歳の人新たに対象になりました

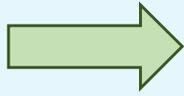
●18～49歳の人
（昭和52年4月2日～
平成21年4月1日生まれ）



裏面をご覧ください

歯周病健診（むし歯・歯周病予防）

●50～60歳の人
（昭和41年4月2日～
昭和52年4月1日生まれ）

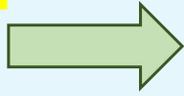


裏面をご覧ください

歯周病健診（むし歯・歯周病予防）
+
オーラルフレイル健診（オーラルフレイル予防）

R8年度より診査内容が変わりました

●61～80歳の人
（昭和21年4月2日～
昭和41年4月1日生まれ）



下記をご覧ください

口腔機能検診（口腔機能低下予防）

※費用は共通して**500円**（妊娠している人、70歳以上の人は無料）

その他費用免除については、別紙「さがみはら健診ガイド8ページ」、または相模原市ホームページをご覧ください



健康診査等一部負担金免除について

（受診にあたっての注意事項）

- ・問診票は受診時に受け取り、ご記入ください。
- ・この健診は、「かかりつけ歯科医※1をみつけない方」のための簡易的な検査です。定期的に歯科医療機関を受診している人、治療を受けている人は、受診券のご利用は不要です（受診券は治療等を補助するものではありません）。
- ・この健診には治療が含まれません（歯のクリーニングや歯石除去などの治療（メンテナンス※2）も含まれません）。治療が必要となる痛み等の自覚症状がある人は、早めに歯科医療機関で保険診療をご受診ください。
- ・治療に移行する場合、後日、保険診療費等が必要になります（原則、健診当日に保険診療を受けられません）。



※1 かかりつけ歯科医：継続的に歯・口腔の健康を管理する歯科医療機関。各個人にあわせたメンテナンスの計画を作成し、実施します。

※2 メンテナンス：主に歯科医師・歯科衛生士による専門的ケア（歯石の除去、歯みがき指導等）を中心とした歯と口の健康管理。

61～80歳の人（昭和21年4月2日～昭和41年4月1日に生まれた人）

口腔機能検診

R8年度より診査内容が変わりました

令和8年3月31日まで

4月1日から

目的	検査項目
かかりつけ歯科医を持つきっかけづくり（むし歯・歯周病の予防）	・むし歯、歯周病の状況 ・歯科保健指導 など



目的	検査項目
かかりつけ歯科医を持つきっかけづくり（口腔機能低下予防）	・口腔乾燥状況 ・かむ力 ・舌口唇運動機能 ・嚥下（えんげ）機能 ・歯科保健指導 など

💡 口腔機能とは？

「食べる」「飲み込む」「話す」「笑う」「呼吸する」「唾液を分泌する」などに必要な口の働きをいいます。

💡 口腔機能が低下するとどうなる？

口腔機能は加齢とともに低下しますが、「かみにくい」、「飲み込みにくい」という状況を見過ごしてしまうと、食事のバランスが崩れ、栄養が偏ります。その結果、全身の衰えにつながる可能性があります。



口腔機能のチェックはなぜ必要？

- ✓ 口腔機能低下は、60代から増えやすい
- ✓ 自分では気が付きにくい
- ✓ 早期に発見すれば、お口の体操等で改善できる
- ✓ 口腔機能を維持すると、会話・食事が楽しめる



18歳～39歳の方がR8年度より新たに対象になりました

18～49歳の人 (昭和52年4月2日～平成21年4月1日に生まれた人)

歯周病健診

お口の健康診査の目的は？

主にかかりつけ歯科医を持つきっかけづくりとして実施しています。
成人が歯を失う原因の多くが歯周病やむし歯です。それらを予防し、お口の健康を維持するためには、若いうちから定期的に歯科医療機関でメンテナンスを受けることが重要です。
かかりつけ歯科医がない方はこの機会をぜひご利用いただき、お口の健康管理を始めましょう。

内容

- ・むし歯や歯周病の状況
 - ・口の粘膜の状況
 - ・かみ合わせや歯並びの状況
 - ・歯の汚れや歯石の有無
 - ・顎(あご)の関節の状況
 - ・歯科保健指導
- (注) 歯のクリーニング・歯石除去(メンテナンス)は含まれません。 ※その他注意事項は裏面をご覧ください

費用：500円 (妊娠している人は無料) ※その他費用免除については、裏面をご覧ください

受診は簡単!! 2ステップ!

STEP①

歯科医療機関を決めて予約



市ホームページ

STEP②

受診券を持って
歯科医療機関で受診



妊娠している方へ

母子手帳交付時に、妊娠中に無料で受診できる受診券を交付しています。ご利用ください。

症状があるときのみ受診
(歯みがき指導は受けた)



平均
7本

定期受診でこんなに違う
80歳での一人平均歯の本数

*長崎大学 新庄教授のデータ

定期的に受診



平均
26本

50～60歳の人 (昭和41年4月2日～昭和52年4月1日に生まれた人)

歯周病健診 + オーラルフレイル健診

上記18～49歳の健診内容に加え、以下の内容が増えました

増えた内容

- ・口腔乾燥状況
- ・かむ力
- ・舌口唇運動機能チェック
- ・オーラルフレイルに関する問診

オーラルフレイルとは？

以前に比べてむせやすい、かめないなど、口にささいな衰えがある状態です。
加齢のせいだと放っておくと、口の機能(食べる、飲み込む、話す)が低下し、食べられるものが減ってしまう可能性があり、そこから全身の衰えにつながっていきます。

費用：500円 ※費用免除については、裏面をご覧ください

